



## 平成27年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ボルテージ  
コード番号 3639 URL <http://www.voltage.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 晃洋  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部管轄 (氏名) 松永 浩

TEL 03-5475-8193

四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年6月期第2四半期の連結業績(平成26年7月1日～平成26年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期第2四半期	5,221	7.9	22	△91.4	53	△81.6	△7	△106.4
26年6月期第2四半期	4,837	4.6	265	260.6	292	254.2	112	343.0

(注) 包括利益 27年6月期第2四半期 26百万円 (△78.4%) 26年6月期第2四半期 121百万円 (217.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期第2四半期	△1.41	—
26年6月期第2四半期	22.28	21.88

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年6月期第2四半期	4,674	3,526	74.9
26年6月期	5,031	3,586	70.8

(参考) 自己資本 27年6月期第2四半期 3,502百万円 26年6月期 3,562百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年6月期	—	0.00	—	19.00	19.00
27年6月期	—	0.00	—	—	—
27年6月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年6月期の配当予想は未定としております。

### 3. 平成27年6月期の連結業績予想(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	4.1	200	△67.5	200	△69.0	0	—	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年6月期2Q	5,127,767 株	26年6月期	5,115,967 株
② 期末自己株式数	27年6月期2Q	228 株	26年6月期	228 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年6月期2Q	5,121,789 株	26年6月期2Q	5,057,531 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済財政政策や日銀による金融緩和策を背景として円安・株高傾向が続き、企業収益は、輸出企業を中心に回復の兆しが見られました。また、個人消費は、消費税増税時の駆け込み需要の反動の長期化等、消費マインドに弱さがみられる中で、底堅い動きとなっています。

モバイルビジネスを取り巻く環境は、スマートフォン契約比率(注1)が平成26年9月に構成比50.3%と初めて半数を超えました(注2)。モバイルゲーム市場についても、成長率の鈍化はみられるものの、OS系PF(注3)向けのアプリを中心に今後も拡大していく見通しとなっています。

このような環境の下、当社グループは、「恋愛と戦いのドラマ」をひたむきに追求しつづけるとともに、当期は、中期目標を達成すべく、恋愛ドラマアプリのノウハウを米国・サスペンスアプリへ展開し、市場を拡大していくことで、さらなる収益拡大に努めています。

売上は、日本語市場において、恋愛ドラマアプリのソーシャル型(注4)は、ソーシャル専業PF(注5)向けが減少しましたが、OS系PF向けが増加しました。パーソナル型(注6)は、キャリア公式PF(注7)向けがPF環境の変化に伴い減少しましたが、OS系PF向けが増加しました。また、サスペンスアプリは、計画を下回りました。英語市場においては、L10N(注8)タイトルが順調に推移しました。全体としては、前年同期比で増加しましたが、計画をやや下回りました。

費用は、OS系PF向け売上の増加による販売手数料の増加、増員による人件費の増加、モバイル広告の出稿による広告宣伝費の増加、東京ゲームショウ出展等による支払手数料の増加等があり前年同期比では増加しましたが、費用対効果を重視したコスト削減を実施した結果、計画よりも低く抑えることができました。

利益は、費用の増加が売上の増加を上回ったことにより、前年同期比で減少し、また、売上が計画を下回った影響を費用削減効果ですべて吸収することができず、計画を下回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は5,221,852千円(前年同期比7.9%増)、営業利益22,859千円(前年同期比91.4%減)、経常利益53,987千円(前年同期比81.6%減)、四半期純損失7,216千円(前年同期は四半期純利益112,701千円)となりました。

当第2四半期累計期間の主な取り組みは、以下の通りであります。

#### (日本語市場)

##### ・恋愛ドラマアプリ(ソーシャル型)

新規タイトル「天下統一恋の乱 Love Ballad」が順調に立ち上がり、OS系PF向けアプリとして過去最高の初動売上を記録しました。既存タイトル「ルームシェア素顔のカレ Love Days」が順調に推移しました。集客は、OS系PF向けのモバイル広告出稿の強化等を行いました。

##### ・恋愛ドラマアプリ(パーソナル型)

新規タイトル「天下統一恋の乱」が順調に立ち上がりました。既存タイトルは「上司と秘密の2LDK」「偽りの君とスキャンダル」等が堅調に推移しました。集客は、平成26年8月に投稿した「上司と秘密の2LDK」のテレビCMにおいて、目標の10か月回収(注9)を達成する見込みであります。

##### ・サスペンスアプリ

既存タイトル「新・生存率0%! 地下鉄からの脱出」は、平成26年8月に投稿したテレビCMで新規ユーザーを大量に獲得しましたが、長期継続率が想定を大幅に下回りました。また、2アプリ目の「ゴシップライター ~消えたアイドルを救え!~」は、課金率が想定を大幅に下回りました。これらにより、サスペンスアプリ全体の売上は、計画を下回る結果となりました。

(英語市場)

L10Nタイトルにおいては、新規タイトル「True Love Sweet Lies (注10)」が順調に立ち上がりました。既存タイトルは「My Forged Wedding: PARTY (注11)」等が堅調に推移しました。SFスタジオ (注12) においては、リリースが当初計画より遅れましたが、新規タイトル「Queen's Gambit」を投入しました。既存タイトルは、引き続き、購買メカニズムに基づいたKPI測定とPDCA運用の強化を図りました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、4,674,588千円（前連結会計年度末比357,332千円減）となりました。

流動資産は、3,558,521千円（前連結会計年度末比564,799千円減）となりました。その主な要因は、現金及び預金が441,994千円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、1,116,067千円（前連結会計年度末比207,467千円増）となりました。その主な要因は、無形固定資産が93,408千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

負債は、1,148,391千円（前連結会計年度末比297,403千円減）となりました。

流動負債は、1,148,391千円（前連結会計年度末比297,403千円減）となりました。その主な要因は、未払法人税等が251,032千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

純資産は、3,526,197千円（前連結会計年度末比59,928千円減）となりました。その主な要因は、利益剰余金が104,415千円減少したこと等によるものであります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して441,994千円減少し、1,759,183千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益53,987千円、売上債権の減少135,684千円、ソフトウェア償却費98,530千円、減価償却費及びその他の償却費69,696千円等があったものの、法人税等の支払308,839千円及び未払費用の減少48,038千円等があり、14,853千円の資金を支出する結果（前年同期は355,848千円の資金を得る結果）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、コンテンツシステム開発等に伴う無形固定資産の取得による支出201,742千円、PCやサーバー等の有形固定資産の取得による支出108,100千円等により、376,435千円の資金を支出する結果（前年同期は179,154千円の資金を支出する結果）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、新株発行による収入670千円があったものの、配当金の支払96,379千円があったことにより、95,709千円の資金を支出する結果（前年同期は78,847千円の資金を支出する結果）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結会計期間の結果を踏まえ、第3四半期以降、以下の取り組みを行います。

①サスペンスアプリのKPIを向上させる

- [商品] コンセプトを見直し、収集・育成要素を含む3アプリ目を投入
- [販売] KPIが向上するまで広告停止

②日本語版恋愛ドラマアプリの売上規模を一段と拡大させる

- [商品]
  - ・ソーシャル型初の歴史モノ「天下統一恋の乱 Love Ballad」を伸長させる
  - ・OS系PF向け初のソーシャル型専用の新規アプリ投入
- [販売]
  - ・ソーシャル型初の全国テレビCM「ルームシェア素顔のカレ Love Days」展開
  - ・広告投下の回収基準を厳格化
  - ・事業提携の検討及び実施

③英語版恋愛ドラマアプリ (Romance Apps) は、L10Nタイトル、USオリジナルタイトルに加え、新たにDRAGON (注13) タイトルの投入を予定しています。これら3タイプについて、それぞれF2P (ソーシャル型) とP2P (パーソナル型) の計6タイプを模索し、伸長させていく路線を絞り込む予定です。

- (注) 1. スマートフォン契約比率：スマートフォンとフィーチャーフォンを合わせた端末総契約数に占めるスマートフォンの割合  
2. 出所：株式会社MM総研「2014年度上期 国内携帯電話端末出荷概況」2014年10月30日発表  
3. OS系PF：App Store、Google Play等のアプリマーケット  
4. ソーシャル型：主に友達等との交流をしながらドラマを楽しめるコンテンツ  
5. ソーシャル専用PF：GREE、Mobage、mixi、Ameba等のSNS PF  
6. パーソナル型：主に個人でドラマを楽しめるコンテンツ  
7. キャリア公式PF：NTTドコモ、KDDI、ソフトバンクモバイルが運営するサイト  
8. L10N：日本語市場向け恋愛ドラマアプリの翻訳版タイトル。Localizationを意味する省略表記  
9. CM10か月回収：CMに投下した広告宣伝費を10か月の売上で上回ること  
10. 邦題：「真実の恋は甘い嘘から」  
11. 邦題：「誓いのキスは突然に」  
12. SFスタジオ：米国サンフランシスコにある当社現地法人  
13. DRAGON：US舞台のアニメ絵オリジナルタイトル。アメリカ人向けにアレンジされたドラゴンロール寿司に由来

以上の結果、平成27年6月期の連結業績予想は、平成27年1月22日付の「業績予想の修正に関するお知らせ」でも公表しました通り、売上高は10,500百万円（前連結会計年度比4.1%増）、営業利益は200百万円（同67.5%減）、経常利益は200百万円（同69.0%減）、当期純利益は0百万円を見込んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,201,178	1,759,183
売掛金	1,836,738	1,701,054
前払費用	41,394	49,878
繰延税金資産	39,610	38,109
その他	8,504	12,148
貸倒引当金	△4,105	△1,853
流動資産合計	4,123,321	3,558,521
固定資産		
有形固定資産	241,465	290,544
無形固定資産	364,650	458,059
投資その他の資産	302,483	367,463
固定資産合計	908,599	1,116,067
資産合計	5,031,921	4,674,588
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	155,799	183,071
未払金	20,935	13,618
未払費用	794,761	746,722
未払法人税等	307,559	56,527
賞与引当金	-	8,453
その他	166,739	139,997
流動負債合計	1,445,794	1,148,391
負債合計	1,445,794	1,148,391
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	908,660	914,205
資本剰余金	874,260	879,805
利益剰余金	1,762,594	1,658,178
自己株式	△196	△196
株主資本合計	3,545,319	3,451,993
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△794	658
為替換算調整勘定	18,224	50,212
その他の包括利益累計額合計	17,429	50,871
新株予約権	23,377	23,332
純資産合計	3,586,126	3,526,197
負債純資産合計	5,031,921	4,674,588



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
売上高	4,837,391	5,221,852
売上原価	1,653,780	1,895,122
売上総利益	3,183,610	3,326,730
販売費及び一般管理費	2,918,405	3,303,870
営業利益	265,204	22,859
営業外収益		
受取利息	299	333
受取配当金	-	55
為替差益	26,764	28,957
雑収入	387	1,831
営業外収益合計	27,450	31,177
営業外費用		
その他	-	50
営業外費用合計	-	50
経常利益	292,655	53,987
特別損失		
固定資産除却損	7	-
特別損失合計	7	-
税金等調整前四半期純利益	292,647	53,987
法人税、住民税及び事業税	212,181	61,401
法人税等調整額	△32,234	△197
法人税等合計	179,946	61,204
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	112,701	△7,216
四半期純利益又は四半期純損失(△)	112,701	△7,216

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	112,701	△7,216
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	247	1,453
為替換算調整勘定	8,668	31,988
その他の包括利益合計	8,916	33,441
四半期包括利益	121,618	26,224
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	121,618	26,224

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年7月1日 至平成25年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年7月1日 至平成26年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	292,647	53,987
減価償却費及びその他の償却費	59,590	69,696
ソフトウェア償却費	65,132	98,530
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,299	8,453
株式報酬費用	28,812	10,375
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△6,442	△2,252
固定資産除却損	7	-
受取利息及び受取配当金	△299	△388
為替差損益 (△は益)	△16,905	△16,439
売上債権の増減額 (△は増加)	18,142	135,684
仕入債務の増減額 (△は減少)	25,438	27,272
未払消費税等の増減額 (△は減少)	22,595	△32,932
未払費用の増減額 (△は減少)	△112,221	△48,038
その他	3,345	△10,350
小計	382,144	293,597
利息及び配当金の受取額	299	388
法人税等の支払額	△26,594	△308,839
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>355,848</b>	<b>△14,853</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△57,078	△108,100
無形固定資産の取得による支出	△107,773	△201,742
敷金及び保証金の差入による支出	△931	△66,592
投資有価証券の取得による支出	△13,371	-
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△179,154</b>	<b>△376,435</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	15,915	670
配当金の支払額	△94,763	△96,379
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△78,847</b>	<b>△95,709</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	25,574	45,003
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>123,420</b>	<b>△441,994</b>
現金及び現金同等物の期首残高	1,783,950	2,201,178
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>1,907,370</b>	<b>1,759,183</b>

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、モバイルコンテンツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。